

※本紙はファイザー社のワクチンを接種した場合について説明するものです。

◆ワクチン接種から接種当日の夜までの過ごし方

ーワクチン接種ー

- ・ワクチン接種は「**筋肉注射**」で行われます。
- ・一般的に筋肉注射は、皮下注射（皮膚と筋肉の層の間への注射）よりも**特別に痛みが強い注射方法ではない**と考えられています。



ー接種後の待機ー

- ・ワクチン接種後は、経過観察のため、接種会場で**15分間**待機をお願いします。
- ・過去に重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、採血等で気分が悪くなったり、失神等を起こしたことがある方は**30分間**程度待機していただきます。



ー接種後当日ー

- ・通常の生活は問題ありませんが、**激しい運動**や**過度の飲酒**等は控えてください。
- ・接種部位は清潔に保ってください。
- ・入浴は問題ありませんが、注射した部分は強くこすらないようにしましょう。



ワクチンの副反応について

接種後、数日以内に、**注射した部分の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み、寒気、下痢、発熱、吐き気**などがみられることがあります。

○接種直後よりも翌日に痛みを感じている人が多いです。

○発熱や頭痛、倦怠感などの全身反応は、1回目の接種より2回目の接種のほうが、頻度が高い傾向がみられています。また、これらの症状は、年齢が高くなると頻度が低くなる傾向や、男性より女性の方が頻度がやや高いことが報告されています。

アナフィラキシーについて

アナフィラキシーとは、薬や食物が身体に入ってから、短時間で起きることのあるアレルギー反応です。**起こることは極めてまれです。**

じんま疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下（呼びかけに反応しない）を伴う場合を、アナフィラキシーショックと呼びます。

発現割合	症状
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛
10～50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ
1～10%	吐き気、嘔吐

参考・出典 厚生労働省「新型コロナワクチン Q&A」
「新型コロナワクチンの接種後の健康状況調査」
「新型コロナワクチンを受けた後の注意点」

- ・ワクチンの副反応の大部分は、接種後数日以内に回復します。
→体調が回復しない場合や症状が重い場合は医療機関に相談しましょう。
- ・接種後に、もしアナフィラキシーが起っても、迅速に対応できるよう、接種会場では、医療品の準備をはじめ体制を整えています。

